

# 菅直人を「私たちの首相候補」に指名しよう

～～～「KANプロジェクト」に参加しませんか～～～

小平市 小俣一郎

皆さんはいま「菅直人を「私たちの首相候補」に指名しよう」運動（略称「KANプロジェクト」）が展開されているのをご存じですか。

5月5日の朝日新聞の2面に小さな記事ですが掲載されていたので（私もそれを見て知りました）、すでにご存じ、いやすでに行動に移されFAXを送られた方もいらっしゃるかと思います。

この運動は、世論調査でも人気があり、潜在的な首相候補であるといえる菅直人氏を、「私たち一人ひとりが「私たちの首相候補」として指名することを、ファックスや郵便で表明し、明確な形で表現する」ことによって、「真の首相候補」として担ぎ出そうという運動です。

これは、イタリアの「オリーブの木運動」に詳しい、後房雄・名古屋大学教授の問題提起とアイデアを受け、有志がスタートさせたもので、「一人でも多くの人々が「自ら意思表示する」ことこそ、この国の政治の流れを変える上で、いま最も重要なことだ」との考えに立っています。そして次の総選挙で有権者が「政治選択」の意思表示を明確にできるように、現在の橋本政権に変わりうるもう一つの政権選択肢を「菅直人を「首相候補」にする」ことによって成立させようとしているのです。

そして、「それは菅直人氏が、新・民主党の首相候補にとどまらず、政党にはもう期待できないと思っている多くの有権者と直結した首相候補となったときに初めて可能だ」との認識のもと、現在、政党の垣根を越えて、より多くの有権者に対して呼びかけが行われているのです。

日本は小選挙区制に変わりました。その長所は、やり方によっては、「誰に何を託すのか」を明確にできることです。英国人は「メジャーではなく、ブレアに託し」、多党化しているイタリアでも《オリーブの木》によって「プロディに託し」ました。日本でも「選択肢」の明確化は可能なはずです。

いま投票率が低いのは、各党の表面的な公約の違いがわからない状態になり、「選択肢」が明確でないからだと思います。だからこそ、「橋本に託すのか、それとも菅に託すのか」ということが、大きな「選択肢」になるのではないのでしょうか。

このような方法で首相が選ばれたとき、各代議士は〇〇〇を首相にすることを公約にして当選するわけですから、その首相の指導力は確固としたものになります。つまり、公約した政策が実行できる体制になるわけです。もちろん、首相の見通しが甘く失敗することもあるかもしれません。しかしその時は、その首相の責任を追求し、政権をたらい回しにせず、解散総選挙を行い、再度国民の審判を仰ぎばいいわけです。

要は、総選挙の前に「選択肢」を提示し、国民がそれを意識的に選択する。そして、当選後はそれを忠実に実行し、4年後結果を国民が判断する。そのような体制を確立させることです。そしてそのときにこそ日本の政治に新しい風が吹くのだと思います。

次の総選挙をそのような選挙にするために、「橋本ではなく、菅だ」と思われる方は、ぜひこの運動にご参加いただき、もう一つの政権選択肢の成立にご協力下さい。

## ☆☆☆運動への参加方法☆☆☆

お手元のコピー用紙等で結構ですので、まず、

① 私には菅直人を首相候補として指名します。 と記入します。

② 次に、名前・年齢・住所を記入します。

◇◇基本的には、これだけで結構なのですが、

③ 差し支えがなければ、a. 職業又は参加している社会的団体、b. 電話&FAXもご記入いただき、

④ さらに、皆さんの「メッセージ」を記入して、

⑤ 「KANプロジェクト事務局」宛にFAX（03-3501-9556）して下さい。

郵送していただいても結構です。（〒100-0014 千代田区永田町 2-17-10 サンハム永田町402）

☆

☆なお、私の手元に、① 呼び掛け文「菅直人を「私たちの首相候補」に指名しよう」と

② 事務局から送ってもらった「首相候補指名FAXシート」があります。

より詳しく知りたいという方には、FAXあるいは郵送致しますので、その旨下記までご連絡下さい。

小俣一郎 〒187-0011 小平市鈴木町1-498-6 TEL&FAX 042-326-7229